



手づくりの自慢の味
心を込めて提供します！
〈ぱんげあスタッフ〉



広報

こほくかい

新春

号

○発行／湖北会 広報室(法人本部)
○住所／滋賀県長浜市富田町431番地5

○発行者／北野 憲一
○発行日／平成29年1月20日

年頭のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

平成29年(2017年)の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、当法人が実施します各事業の運営に格別のご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、社会福祉法人の高い公益性・非営利性を担保するため、法人が自律的に適正な運営を確保するためのガバナンス(統治)の強化を図ることを主たる目的とした社会福祉法が改正され、いよいよ全面施行されます。

法人といたしましても、それに対応した新たな体制で、「その人らしく、地域で働きたい、暮らしたい、楽しみたい」という経営方針の原点に立ち返り、多様化・複雑化する障害福祉ニーズに真正面から対応して参ります。

ハード面におきましては、懸案事項であります「湖北まこも」の改築および新規事業としての「あそしあ」の大規模改修の取り組みを着実に進めていきたいと考えております。

一方、利用者支援面では、役員・職員が一丸となり、利用者一人ひとりが唯一無二のかけがえのない人生を安心して笑顔で歩んでいけるように必要な時に必要な支援を提供していくため、さらなる専門性の向上に努めていく所存です。

ここに旧年中のご厚情にあらためて深く感謝申し上げますとともに、本年も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。

平成29年 正月

社会福祉法人 湖北会

理事長 北野 憲一

役職員一同

新年のご挨拶

輝かしい新春を迎え、後援会会員の皆様には、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年中は、後援会事業の実施に格別のご協力を賜り誠に有難うございました。おかげさまで、この3月末には、保護者の方々を中心に、後援会会員数が、300名を超える規模となりそうでした、あらためて御礼申し上げます。

現在、湖北会では、入所支援施設の「湖北まこも」の全面改築ならびに築20年の「あそしあ」の大規模改修という多額の事業費を要する喫緊の課題に直面しております。

さらに、昨年度、滋賀県内において、特別支援学校在籍の生徒数が増大しているにもかかわらず、新たに開設された作業所は一つもありませんでした。当湖北においても、長浜特別支援学校の新卒者を受け入れる余地が限られてきました。施設の新設の是非も問われる切迫した事態となってまいりました。

少子高齢化が急激に進展する国及び地方自治体の財源支援も厳しさが増す中、これら施設整備の実現には、湖北会において少なくとも億単位の資金を確保しなければならない客観情勢でありまして、少しでも多くの方々の後援会を通じたご支援ご協力を、引き続きよろしくお願い申し上げます。

後援会 会長 大塚 浩司

平成29年 新規学卒採用者 内定辞令交付式・交流会を実施

平成29年4月1日より、新しく湖北会の職員として仲間入りいただく採用予定者に対する採用辞令書交付式が、採用内定通知時期に合わせて、10月3日と12月22日の両日にわたり実施しました。いずれの日も北野理事長より、それぞれ内定辞令書が手渡され、引き続いて理事長から激励の言葉があり、内定者の皆さんはしっかりと心に刻まれ、来春からの入職に期待感を寄せておられました。



第2部では、先輩職員や同期の皆さんとの交

流会に移って、和やかな雰囲気の中で交流を深められ、来春からの湖北会での活躍を誓っておられました。利用者支援への熱意と希望に満ちた新規学卒者の皆さん、4月からの入職を心待ちにいたしております。

法人本部



新人振り返り研修

10月7日に、今年度採用の職員対象に新人振り返り研修を実施し、合計10名の新人職員が参加しました。「仕事をしていて良かったこと・困りごと・悩みごと、ストレス解消法、将来の自分を描く」のテーマで、グループワークをしました。日頃感じている自身の悩みや夢を言葉にして同期に伝え、共感しあうことで励みややる気にも繋がったようです。研修では皆さん生き生きとした表情になり、和気あいあいとした和やかな雰囲気となりました。

今後、様々なことを経験し・学び・協力しながら、同期や利用者の皆さんとともに成長していただきたいと思います。研修部



『ぱんげあ』7周年記念イベントを実施!!

気がつけば、『ぱんげあ』を開店して、早やくも7年を迎えます。

店舗経営のノウハウが全くない中、利用者・支援員ともに試行錯誤を繰り返し、今日に至りました。売上の向上もさることながら、まず利用者さんが主体的にかかわってもらえるように、新規メニューを考えたり、業務を見直したりすることで、現在では、職員が店舗に出向いても、利用者さんに尋ねて、業務を回すこともあり、このことはとても頼もしく感じています。

現在取り組んでいることは、地域のイベントに積極的に出向き、そこで“ぱんげあ”を覚えていただき、店舗にご来店いただけるようにしています。おかげで少しずつではありますが、知名度も浸透しつつあり、「ぱんげあに行ったことあるよ。」との声掛けを励みに、前向きに取り組んでいきます。

ワークスさかた

いぶきやま 家族会大掃除

いぶきやまでは、12月10日(土)に家族会行事の一つである年末恒例事業所内の大掃除を実施していただきました。当日は、食堂から廊下にかけてのガラス拭きや床のワックスがけを、そして外回りでは蜘蛛の巣取りや溝掃除と手際よく作業していただきました。また、利用者の方も一緒になって、それぞれの持ち場で清掃作業していただき、特に、普段メンテ作業に従事いただいている方は、手慣れた様子ですっかりきれいにしていただきました。おかげさまで、いぶきやま事業所も、気持ちよく新春を迎える準備を整えることができました。



ワックスさぼてん 送迎用新車両納車される

このほど、赤い羽根共同募金の助成を受け、かねてより待たれていた車両更新をすることができました。今後は、毎日の送迎や施設外就労など事業所活動において大切に活用させていただきます。気持ちのよい新車に利用者・職員一同大変喜んでおり、感謝の気持ちで一杯です。関係者の皆様、本当にありがとうございました。



“就労支援センターあっぷでーと” をご存知ですか？

“就労支援センターあっぷでーと”は、米原駅より徒歩5分のところにある「就労移行支援事業所」です。就労移行支援事業所とは、「会社で働くために必要なことを学んで、就職し『長く働き続ける』トレーニングをしますところ」です。平成25年4月から当事業を開始して、これまで16名の方が、一般企業等に就職されました。



長く働き続けるためにあっぷでーとで取り組んでいること

作業訓練	・作業の得意/不得意を見極めます ・どのような工夫をすれば上手くできるか一緒に考えます
面談	・個人面談でそれぞれの悩みや不安を聞き、一緒に解決に向けて整理します ・就労に向けてどんな点に取り組みそうか一緒に考えます
認知行動療法	・グループセッション/感情コントロールの学習/オリジナルの連絡帳作成 ・ソーシャルスキルトレーニング
就職活動	・ハローワーク同行、職場見学、職場実習同行 ・面接練習、履歴書の書き方など
定着支援	・就職後の職場訪問にて事業所/本人への聞き取り ・就労後の面談実施、OB会

作業のノウハウはもちろんのこと、仕事が続けにくい原因とされる「メンタル不調」についても、トータルに支援をしています。自身のことを職員と一緒に考えることで、自信を持って会社で働く力を身につけることができます。

高齢者支援部会での新たな取り組み

これまで、利用者の高齢化に伴う個々の事業所内での取り組みは、まだまだ十分なものとは言えず、さらに利用者の高齢者施設への移行となると、そう簡単ではない深刻な状況にあります。このことから、利用者が事業所の垣根を超えて、高齢者デイサービスで行われているような活動の場を提供することを目的とし、年度途中から試験的に「あそしあ」、「湖北まこも」、「いぶきやま」および「やまぶき」の4事業所で活動を開始することになりました。活動場所は、長浜市社協様のご協力により、湖北デイサービスセンター（旧名称さわやかホーム）の1室をお借りして、現在までに3回にわたり活動を行ってきました。

内容としては、午前中は体を動かすことを目的とした活動（風船バレー・バランスボールその他）を行い、昼食前には、口腔体操をして、嚥下の働きをよくするメニューも取り入れることとしました。午後には、創作活動（塗り絵・折り紙・季節の作品づくりなど）で、その間、交代でアロマセラピーも行っています。

今後も、転倒などのアクシデントに十分気を付けて、楽しいひとときを提供できるように、工夫しながら継続していきたいと考えています。なお、この部会の名称が、いまだに仮称で曖昧なままなので、活動に相応しい名称がありましたら、ぜひ部会担当者までお寄せください。

高齢者支援部会 やまぶき 大音



「やまぶき」大音

第3回 ライフまいばら アート活動作品展 開催のお知らせ

今年度も、ライフまいばらアート活動作品展を、平成29年2月2日(木)～4日(土)の3日間、米原市近江公民館(米原市顔戸)にて開催します。ライフまいばらにてアート活動に参加されている20名の作者が、作成された絵、陶芸、編み物等の作品約50点を展示します。作者の皆さんの思いが込められた作品をぜひご覧ください。ご来場をお待ちしております。



ライフまいばら 井下山

やりました! 見事!ホームヘルパー養成研修受講修了

ワークスさかた利用者のお一人が、平成28年度のホームヘルパー養成研修を見事に修了されました。(介護等の場における知的障害者就労促進事業)

7月28日から12月6日までの40日間、実に218時間にも及ぶ長期の研修にもかかわらず、1日も休むことなく受講されたということが、また驚きです。

研修期間中、会場がある彦根市や草津市には、公共交通機関を利用されました。研修の決まり事である受講科目ごとのレポート提出については、本人もかなりの負担であったかと思われましたが、自らも着実にスキルアップしている実感を励みに、終始意欲的に取り組まれました。

修了後の本人の感想では、今後介護の分野での仕事に挑戦してみたいという思いを新たにされています。

ワークスさかた 大岩

やまぶき シーズン到来～冬の準備

昔から柿や柚子などが多く実ると、大雪となると言われています。

近年、地球温暖化とは言われていますが、今シーズンの降雪は果たして、そんなことを思いつつ、「備えあれば憂いなし」のことわざどおり雪対策の準備を怠ることはできません。

点検終了後、除雪用にフォークリフトにバケットを装着し、いよいよ除雪態勢のスタンバイ完了です。

やまぶき 今井



新顔登場 『新人職員紹介』



湖北まこも
北川 喜弘

11月から生活支援員として働いています。

右も左も分からないことばかりですが、これまでの経験を活かし、利用者さんが笑顔で過ごせるよう頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

●趣味 読書、映画鑑賞



湖北まこも
ありたに りょうた
蟻溪 亮太

12月から正規職員として、採用いただきました。

利用者の皆さまの笑顔が一つでも増えるように、寄り添っていけたらと思います。私を見かけられたときは、気軽にお声かけいただけたら幸いです。よろしくお願いいたします。

●趣味：音楽鑑賞、相撲

ゆるり

日帰り旅行

去る11月11日に大阪伊丹空港とEXPOCITYをメインとする家族会日帰り旅行に、同行させていただきました。当日は天候にも恵まれ、伊丹空港では飛行機の離発着を眺めながら、おいしい昼食を食べ、食後には屋外デッキから見学をしました。皆さん飛行機が離発着するごとに「おおー!」と歓声をあげたり、興味深くキラキラと目を輝かせておられたことが印象的でした。



次に訪れたEXPOCITYでは体感型水族館「NIFREL (ニフレル)」へ出向き、たくさんの動物たちを間近に見ることができました。「ドクターフィッシュ」の愛称で知られているガラ・ルファという魚の水槽に手を入れて角質を食べてもらう体験も多くの方がされ、なんだか不思議そうな表情をされていました。その後もカワウソやペンギン、大きなモイロペリカン、日本には数頭しかいないホワイトタイガー、そしてお昼寝中のカピバラなどの様々な動物たちに後ろ髪を引かれながらも、たくさんのお土産を買い、万博公園中央にある太陽の塔に別れを告げて、帰路につきました。

ご参加いただいた皆様へ、取り立てて怪我などなくて、楽しい思い出満載の印象的な旅行となり、皆さん大満足で無事に終えることができました。

ゆるり 川森

湖北まこも

感動!!井上和子先生との再会の旅

11月24(木)・25日(金)井上先生との再会を果たすため、利用者さんとともに群馬県へ出向きました。

寒さを伴う思いがけない天候となりましたが、紅葉、雪景色の両方を一度に見ることができ、何だか得した気分でした。

井上先生との出会いのきっかけは、昭和61年11月24日に行われた「県障がい者福祉のつどい」にて飛ばした風船です。その風船が風に乗れ、一晩で600km離れた群馬県内の小学校に落ち、ちょうど支援学級の生徒が拾ってくれたことから、その当時の担任でいらした井上先生と湖北まこも(当時の湖北寮)利用者との間で文通が始まり、それは今も続いています。

井上先生との再会は、実に感動的なもので、抱き合って再会をともに喜び合いました。井上先生の元には今もなお、しばんだ風船があり、今までの手紙や懐かしい写真をみながら、当時の思い出話や近況報告を語り合いました。また、風船が落ちてきた場所にも案内していただきました。

さらに、今回先生に再会した11月25日と風船を拾って下さった日が偶然にも同じであることに気づき、たまたま風船と同じ日程を旅してきたことに驚きと、強い「絆」を感じるようになった日となりました。

井上先生、大変お世話になり、ありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。

湖北まこも 嶋崎



シリーズ おすすめスポット vol.9 「R.CAFE(アールカフェ)」

■滋賀県長浜市朝日町35-7 TEL65-1241

アンティークな家具で囲まれた、ゆったりとした空間のカフェです。素敵な雑貨も並んでいます。

この日私が注文したのは、イチゴロールとカフェオーレです。イチゴロールは、ゴロゴロっとイチゴが入っていてとても贅沢なロールケーキなので特におすすめです。R.CAFE では紅茶が本格的で、小さなポットとかわいいティーカップで出てきます。いろんな種類の食器も、R.CAFE の見どころです。とても仲の良い優しいご夫婦で経営されています。ちょっとした空き時間に、立ち寄られてみては、いかがでしょうか。なお、日・月・火曜日はお休みなので、注意してください。

あそしあ 野本

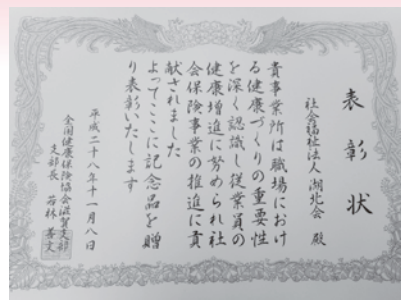


晴れて協会けんぽ “健康づくり優良事業所表彰”受賞!

昨今の景気回復基調とともに緩やかな人口減少から来る慢性的な労働力不足は、湖北会においても深刻さを増してきており、これにより職員一人ひとりが担う役割が、年々増大してきました。特に、退職等によって欠員が生じたときの影響は大きく、職員の健康維持・増進は、経営（事業運営）にとって死活問題です。職員が、日頃心身ともに健康で生き生きと取り組むことで、事業所内のコミュニケーションが活性化され、だれもが働きやすい職場環境で、支援業務の目指す目標に近づけることができると思います。

このことから湖北会では、職員の健康維持のための取り組みとして数年前から、職員の保健指導を協会けんぽに依頼してきました。健康診断結果、メタボリックシンドローム（生活習慣病）またはその予備軍と診断された職員には、協会けんぽより派遣された専門の保健師・管理栄養士による包括的な保健指導を受けることになります。

このたび湖北会は、事業所として健康維持に努めてきたこの取り組みを評価いただき、「健康づくり優良事業所」として受賞の栄に預かりました。この表彰を機に、「職員の元気は、職場の元気」を合言葉に、引き続き法人あげて健康維持・健康づくりに取り組んでまいります。



編集後記

明けましておめでとうございます。

今季号は、法人の協会けんぽ「健康づくり優良事業所」表彰受賞の記事をトピックな話題として、掲載しました。みんなが健康で生き活きと活躍できる職場環境づくりは、いうまでもなくとても大切なことです。

このことに関連して、昨年12月1日から、労働者のストレスチェックの実施が、義務化（労働者50人以上の職場）されました。ご承知のとおり現代人は、さまざまなストレスにさらされています。「病は気から」という言葉もあり、身体に別段不調はないけれど、何か心がモヤモヤしてどうもスッキリしない・・・ということが、よくあります。

私たち、質の高い支援を目指すためには、心も身体も常に万全でありたいものですね。支援をする職員の健康づくりについて、前向きにしっかりと受け止められる法人でありたいとあらためて思うところです。本年は、ぜひ職員一人ひとりが意識して、自己管理に心掛けていきたいものです。

編集委員：服部

